

2022年7月24日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会

第65巻第15号(通算3297号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

^{かみさま}神様がすべての人^{ひと}と共^{とも}におられる
ことを証^{あかし}ししていく教会^{きょうかい}



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

せいれいこうりんせつ 聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい 第8主日礼拝

《^{れいはい}礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
^{しちょう}ご視聴いただけますので、それぞれの場所^{ばしょ}で共^{とも}に礼拝^{れいはい}をしていただけます》

前奏 (黙 祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 119編 130-132節

賛美歌 21-360番「人の目には」(©著作権消滅)

聖書 マルコによる福音書 8章 22-26節

お祈り

賛美歌 21-520番「真実に清く生きたい」(©教団讚美歌改訂委員会)

メッセージ 「放っておけない仲間」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-486番「飢えている人と」(©JASRAC)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 119 編 130-132 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

130 あなたの言葉が開かれると光が射し

無知な者にも悟りを与えます。

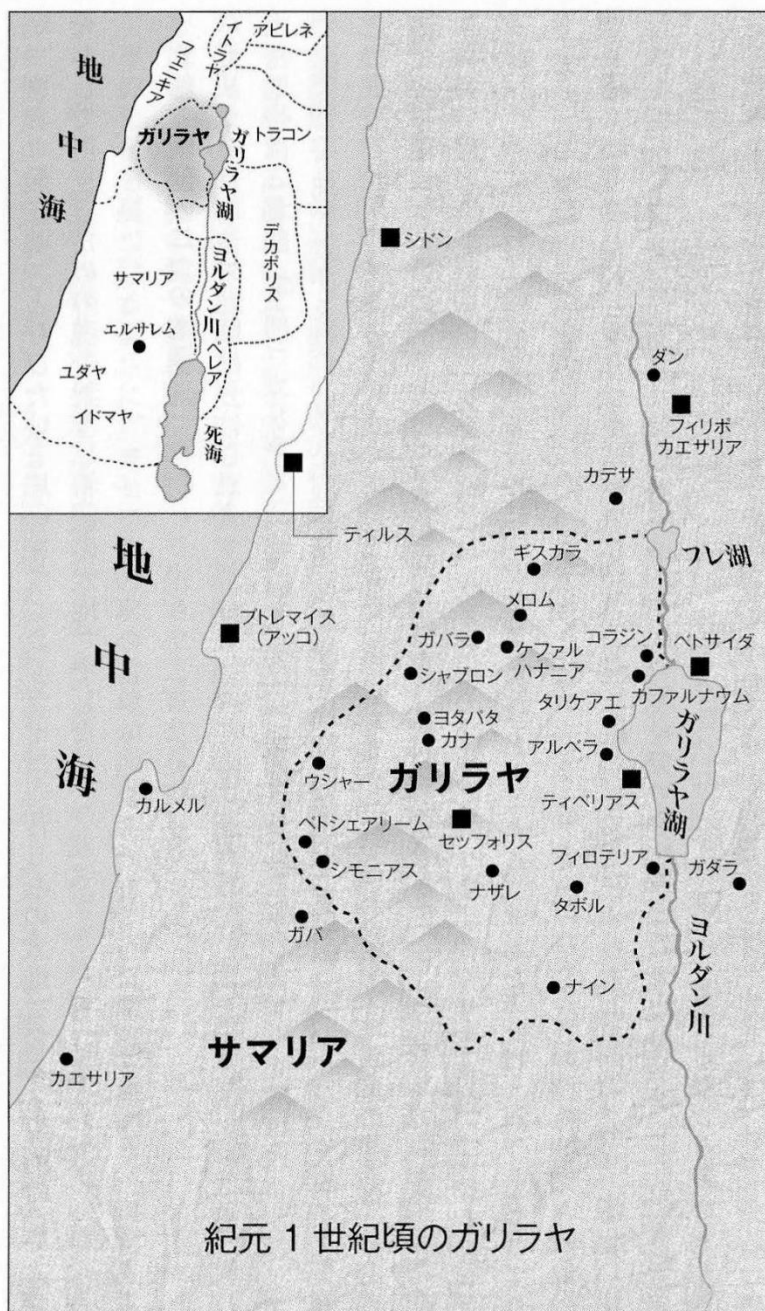
131 あなたの^{いまし}戒^{した}めを慕い求めて

私は口を開け、あえぎました。

132 私の方を向き、^{あわ}憐れんでください

^{みな}御名を愛する者への^a裁きに従って。 (脚注 a: 別訳「しきたり」)

聖書 マルコによる福音書 8章 22-26 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)



22 一行はベトサイダに着いた。人々が一人の盲人をイエスのところに連れて来て、触れていただきたいと願った。23 イエスは盲人の手を取って、村の外に連れ出し、その両目に唾^{つば}をつけ、両手をその人の上に置いて、「何か見えるか」とお尋ねになった。24 すると、盲人は見えるようになって、言った。「人が見えます。木のようですが、歩いているのが分かります。」25 そこで、イエスがもう一度両手をその目に当てられると、見つめているうちに、すっかり治り、何でもはっきり見えるようになった。26 イエスは、「村に入っ

(地図：山口雅弘 2022 『ガリラヤに生きたイエス』 107 頁)

《先週のメッセージより》2022年7月17日 メッセージ

「偽りの夢 真実の夢」より

牛田匡牧師

聖書 エレミヤ書 23章 16-32節

今回のお話は、預言者エレミヤの言葉でした。預言者は、神の言葉を人々に告げる存在ですが、エレミヤ以外にも何人もいました。そして人々に「あなたがたには平和が臨む」「災いは来ない」と優しい預言を語る預言者たちがいた中で、エレミヤは反対に「もうすぐ苦難が来る。裁きが来る」という厳しい預言を語りました。どちらが真実の預言で、どちらが偽の預言なのか。その結果は歴史が証明しています。今、聖書を読んでいる私たちは、その後の歴史を見て、エレミヤの方が真実の預言をしていたと知っています。しかし、もしも自分が当事者として生きている時に、「このままでは苦難が来る」という厳しい言葉と、「神様が一緒にいてくれるから、私たちには災いは来ない」という優しい言葉とが告げられたら、私たちはどちらの言葉に耳を傾け、どちらの方向に歩んでいくでしょうか。

しかし、そもそも「〇〇すれば、こうなるだろう／はずだ」という考え方自体が、本当に真実なものなのでしょうか。私たちの目から見て、たとえどんなに正しい人、立派な人、信仰深い人であっても、病気になることもあれば、事故に遭ったり、災害に見舞われたりすることもあります。むしろ、いい人の方にはばかり、苦難なのか試練なのか、しんどいことがたくさん与えられているようにすら感じることもあります。「何故、どうして」と思います。それこそ「神様はどこにいるのか」とすら感じます。しかし、聖書は「神は、天をも地をも満たしている」(エレミヤ23:24)と言い、「私たちの方こそが、神様の御手の中にいる」(詩139:5)と告げています。それは「正しい信仰を持ち、神様の御手の中に生かされていることに気付いていれば、災難に見舞われることはない」ということではありません。聖書が告げているのは、「〇〇すれば、こうなるはずだ」「こうなったのは、〇〇しなかったせいだ」という考え方からの脱却、卒業です。言い換えるならば、「どんなに苦難や試練に見える中でも、そこでも命の神が隣にいて、共に歩んでくれている」「そこが神様の御手の中」ということです。「偽の預言」「偽りの夢」に目を向けて、その事実から目を逸らすのではなく、神様からの助けを得て、神様と共にあって、今、この時の現実に目を向けて、その現実を受け止めて歩み出そうということです。

私たちの目の前には、すぐには正解が分からない課題もあれば、右と左とどちらを選べばよいか分からないこともあります。そのような時も、すぐに答えを出そうとするのではなく、命の神の御心はどこにあるか、イエス様ならどうするかを祈り求めながら、私たちは今日もここから歩み出していきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

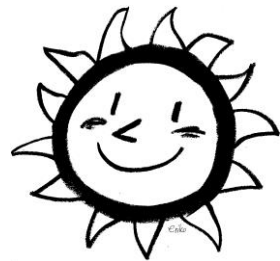


LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 7月17日

主日礼拝出席 大人 3名 中継動画再生数 10回
 献金 大人 2,000円 感謝



◎次週 2022年7月24日(日) 聖霊降臨節第8主日礼拝

招きの詞 詩編 49編 2-5節

聖書 コヘレトの言葉 1章 2, 12-14節、2章 18-23節

メッセージ「太陽と傲りの中で」岡嶋千宙伝道師

賛美歌 21-84番 (©P.D.)、21-575番 (©JASRAC)、21-158番 (©JASRAC)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。

◎お知らせ

・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第7波」が到来し、再び感染者が急増し続けています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。

・本日の礼拝後には、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けします。どなたでもご参加ください。

・7月21日(木)早朝に、入院されていた
 さんが召天されました。
 ご葬儀はコロナ禍のためにご親族のみで、
 行われました。ご遺族やご関係者の皆様の上に、神様からの平安と慰めが豊かにありますように祈ります。

・8月6日(土)13時半~16時に、日本クリスチャンアカデミー・関西セミナーハウス主催の講演会「今なお差別される沖縄」が会場とリモート(ZOOM)の併用形式で開催されます。参加費は1,500円(学生は500円)です。申込期限は8月3日(水)です。

会場へのアクセスや詳細は、関西セミナーハウス活動センターのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.academy-kansai.org/index.php>

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/31	岡嶋伝道師	誕生者祝福式
8/7	牛田牧師	平和聖日・ユウカリスト・(考える会なし)
8/14	水谷牧師	
8/21	岡嶋伝道師	

日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

2022年度 修学院フォーラム「社会」第3回

今なお差別される沖縄

会場と
リモート
(Zoom)

講師：金井 創 (日本キリスト教団佐敷教会牧師)

1945年、太平洋戦争末期の2月に近衛文麿が昭和天皇に終戦・降伏交渉を進めるべきと進言しましたが、天皇は「もう一度戦果をあげてからでなければ難しい」と退けました。その結果、東京大空襲や各都市への空襲があり、沖縄戦があり、広島・長崎への原爆投下がありました。戦後も1947年に天皇は布美・沖縄諸島を米国の長期にわたって占領継続することが両国にとって利益であると占領軍にメッセージを送っています。これによって日本が独立を回復した後も沖縄は20年間米国の占領下に置かれました。沖縄が「本土復帰」して50年たった現在でも在日米軍基地の70%が沖縄に集中しています。さらに新しい基地建設まで進められています。沖縄はずっと差別されてきたのです。この「差別」の視点から日本と沖縄の関係を考えていきたいと思います。

日 時 2022年 8月6日(土) 13:30 ~ 15:50 新型コロナウイルス感染症の状況によって、変更する可能性があります。

参加方法 関西セミナーハウス来場(会場は申込先着10名まで)または、リモート参加

参加費 来場/リモート共通 1,500円 学生 500円 [リモートは振込で(振込先裏面)]

◎講師は、会場で講演し、話し合いに参加します。参加者は、次のいずれかの方法で参加できます。

[来場参加] 関西セミナーハウスの会場に集まり、大画面の映像とスピーカーを通して講演を聞き、話し合いに参加します。

[リモート参加] パソコンやスマートフォンなどを利用して、任意の場所からネットを通して参加することができます。申し込みの際にメールアドレスをお知らせください。メールアドレスをZoomの招待状にお送りします。



金井 創 かない はじめ

1954年、北海道岩内町生まれ。
 1978年、早稲田大学政治経済学部卒業。
 1983年、東京神学大学大学院修士課程修了。
 1983~1996年、日本キリスト教団富士見町教会副牧師。
 1996~2006年、明治学院・学院牧師、明治学院教会牧師。
 2006年~現在 日本キリスト教団佐敷教会牧師。
 2010~2021年3月 沖縄キリスト教学院大学平和研究所コーディネーター。
 2007年~現在 辺野古新基地建設反対行動に参加
 (抗議船「不屈」、[木乃葉船] 船長)
 著書『生き方としてのキリスト教』(1999年 日本キリスト教団出版局)
 『沖縄・辺野古の抗議船「不屈」からの便り』(2019年 みなも書房)

*要申込み 8月3日(水)までに Fax(原部)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込みください。